

3月定例市議会おわる
三月定例市議会は、五日から二十四日まで会期、二十日間でひらかれ、五十九件の議案を可決しました。可決された予算については、255ページに特集としてお知らせします。なお、可決議案の詳細は、追って条例施行のつど広報紙を通じてお知らせします。

えびし

4月1日

昭和46年(1971年)

473号 発行・前橋市役所/編集・総務部秘書課/毎月1日・15日/昭和35年7月14日第3種郵便物認可(1部4円)

市内の投票所と投票区域

※投票所入場券にはあなたの投票所が印刷してあります。

投票区	投票所	投票区域	開票所
1	桃井小学校	大手町一丁目、大手町二丁目、本町一丁目	第一区 第一中学校体育館
2	桃井小学校	紅雲町一丁目、紅雲町二丁目	
3	中央小学校	表町一丁目、表町二丁目	
4	第一中学校	南町一丁目、南町二丁目	
5	城南小学校	南町三丁目、南町四丁目	
6	第五保育所	六供町	
24	神明幼稚園	千代田町一丁目、大手町三丁目	第二区 第五中学校体育館
25	前橋商工会議所	千代田町二丁目、千代田町三丁目、本町二丁目、千代田町四丁目、千代田町五丁目	
26	上川公民館	上佐島町、柳島町、宮地町、朝倉町の一部、後閑町の一部、下佐島町	
27	広瀬小学校	後閑町の一部、西善町の一部、山王町の一部	
28	上川公民館上北分館	西善町の一部、山王町の一部、中内町、東善町	
29	下川公民館	公田町、横手町、亀里町、鶴光路町、新堀町、下阿内町、力丸町、徳丸町、房丸町	第三区 桂萱中学校体育館
7	天川小学校	文京町一丁目、文京町二丁目、天川原町	
8	第五中学校	天川町、朝倉町の一部	
9	第五中学校	文京町三丁目、文京町四丁目	
10	群馬銀行前橋支店	朝日町三丁目、朝日町四丁目	
11	中川小学校	三河町二丁目、朝日町一丁目、朝日町二丁目	
12	中川小学校	本町三丁目、三河町一丁目	第四区 第三中学校体育館
13	第二中学校	城東町三丁目、城東町四丁目、城東町五丁目	
30	天川大島町自治会館	天川大島町の一部、野中町の一部、東片貝町の一部、西片貝町の一部	
31	群馬電算センター	天川大島町の一部	
32	永明公民館	上大島町、女屋町、東上野町、野中町の一部、下長磯町、上長磯町、小島田町	
33	駒形小学校	駒形町	
34	木瀬中学校	箕井町、小屋原町、上増田町、下増田町、下大島町	第五区 元総社中学校体育館
14	城東小学校	住吉町二丁目、城東町一丁目、城東町二丁目	
15	市立女子高等学校	日吉町二丁目、三保町、東片貝町の一部、西片貝町の一部	
16	第四中学校	若宮町一丁目、若宮町二丁目	
17	第四中学校	日吉町一丁目、日吉町三丁目、日吉町四丁目	
35	二之宮小学校	飯土井町、新井町、二之宮町、今井町	
36	大室小学校	西大室町、東大室町	第六区 元総社中学校体育館
37	荒子小学校	下大室町、泉沢町、富田町、荒口町、荒子町	
38	桂萱小学校	上泉町の一部、亀泉町、荻窪町の一部、堤町、江木町、堀之下町	
39	桂萱公民館	上泉町の一部、石関町	
40	西片貝町公民館	西片貝町の一部、東片貝町の一部	
41	養護学校	幸塚町、上沖町、下沖町	
42	端気町公民館	勝沢町の一部、小神明町、端気町、五代町、上細井町の一部、鳥取町の一部	第七区 元総社中学校体育館
43	芳賀公民館	上泉町の一部、荻窪町の一部、端気町の一部、勝沢町の一部、鳥取町の一部、小坂子町の一部	
44	端公民館	小坂子町の一部、端町の一部	
18	若宮小学校	若宮町三丁目、若宮町四丁目、北代田町の一部	
19	若宮小学校	国領町一丁目、国領町二丁目、下小出町の一部	
20	敷島小学校	昭和町一丁目、昭和町二丁目、昭和町三丁目	
21	岩神小学校	岩神町三丁目、岩神町四丁目、敷島町、上小出町の一部、川原町の一部、緑が丘町	第八区 元総社中学校体育館
22	第三中学校	岩神町一丁目、岩神町二丁目	
23	第三中学校	平和町一丁目、平和町二丁目、住吉町一丁目	
45	金丸町公民館	小坂子町の一部、端町の一部、金丸町	
46	細井小学校	上細井町の一部、下細井町、北代田町の一部	
47	南橋公民館	龍蔵寺町、青柳町、南橋町	
48	南橋中学校	下小出町の一部、上小出町の一部、荒牧町の一部	第九区 元総社中学校体育館
49	桃川小学校	荒牧町の一部、日輪寺町、川端町、関根町、田口町、川原町の一部	
50	東公民館	箱田町、後家町、前箱田町、前箱田町二丁目、江田町	
51	大根小学校	川曲町、稲荷新田町、下新田町、上新田町、大根町一丁目、大根町二丁目	
52	東中学校	小相木町、古市町の一部、朝日が丘町、光が丘町	
53	石倉保育所	石倉町の一部、大渡町	
54	元総社中学校	鳥羽町、古市町の一部、元総社町の一部	第十区 元総社中学校体育館
55	元総社公民館	元総社町の一部、大友町、総社町総社の一部、石倉町の一部	
56	総社小学校	総社町総社の一部、問屋町一丁目、問屋町二丁目	
57	第六中学校	総社町植野、総社町高井、総社町桜が丘	
58	清里公民館	池端町、上青梨子町、青梨子町、清野町	

11日県議選投票日



投票所入場券

四月十一日(日)は、県議会議員を選ぶ日です。有権者のみなさん、忘れずに投票しましょう。「わたし一人ぐらい棄権しても……」という考えはやめましょう。あなたの一票は、これから四年間、県政の方向を定めるための貴重な意味をもっています。自分に与えられた尊い権利を正しく行使し、わたしたちの県、わたしたちのまちをよりよくするために——忘れずに投票しましょう。

投票所入場券は、各町内の自治委員さんにおねがいして、みなさんのお手もとにお配りいたします。こんどの入場券の色は白色です。

お出かけ前に一票を

投票時間あさ七時からよる六時まで(金丸公民館は五時)

(金丸公民館は五時)

す。ただ、同じ学校に二か所の投票所ができるような場合は、一方の入場券を、桃色にしてあります。

こんどの選挙の

投票ができる人

①本市の選挙人名簿に登録されている人(昨年の十二月十五日以前から、本市の住民基本台帳に登録されている人で、昭和二十六年四月十二日までに生まれた人。ただし、選挙権を有しない人は、投票できません。)

②右のほか、本市の選挙人名簿に登録されている人で、群馬県内の他市町村へ転出され、その市町村の選挙人名簿にまだ登録されていない人は、転出先の市町村長へ申し出て「引き続き住所を有する旨の証明書」の交付を受け、これを投票の際提示すれば、本市の投票所で投票ができます。

全国統一選挙を呼びかけるボスタ！。あなたの一票を。

住所が変わった人の投票

市内で住所が変わった人で、二月二十八日までに市役所へ住所移動の届け出をした人は、新しい住所の投票所で投票ができます。選挙人名簿を移し替えてあります。



旅行鞆「エンピツがさきよ」仕事などで、どうしても旅行しなければならないときは、不在者投票ができます。

不在者投票

10日まで市選管で受付

印かんと入場券を持参

■投票日に、どうしても投票所へ行って投票ができない人の「不在者投票」は四月十日まで、毎日午前八時三十分から午後五時まで市役所二階財政課内の選挙本部で受け付けます。印鑑と入場券を持参してください。証明書は不要です。

■前橋市内で指定された次の病院、老人ホーム等に入っている人は、

院、上毛病院、新井胃腸科病院、形外科病院、赤城病院、協立病院、養護老人ホーム前橋老人ホーム、

明風園、寿楽園、社会福祉法人三友会桂荘。

投票時間

午前七時から午後六時までが投票時間です。ただし、第45投票所金丸公民館だけは、終りの時間を午後五時までとします。地域の投票所へ早めに行き、投票をすませましょう。

開票は

即日五か所で

午後七時から

開票は投票日の午後七時から次の五か所で行ないます。

第1開票所 第一中学校体育館

第2開票所 第五中学校体育館

第3開票所 桂萱中学校体育館

第4開票所 第三中学校体育館

第5開票所 元総社中学校体育館

県議選立会演説会

4月4日 第六中学校体育館(午後2時) 第二中学校体育館(午後7時)

4月5日 第七中学校体育館(午後2時) 第五中学校体育館(午後7時)

4月6日 南橋中学校体育館(午後2時) 桂萱中学校体育館(午後7時)

4月7日 城南公民館ホール(午後2時) 群馬会館ホール(午後7時)

4月8日 元総社中学校体育館(午後2時) 第三中学校体育館(午後7時)

使いみち めこまかい施策



議会予算説明中の石井市長

三月定例市議会が、五日から二十四日まで会期二十日間で行なわれました。この議会は、ひとくちに『予算議会』と呼ばれるとおり、四十六年度の市政の方向をきめる一般会計予算と、これにともなう九つの特別会計予算を中心としさらに一般議案四十四件、四十五年度の補正予算関係十件、専決処分の報告五件合わせて五十九件を上程、審議の結果、いずれも原案どおり可決承認されました。そこで、このページは、三月定例市議会の審議の中心となった新年度予算についてお知らせし、一般会計、特別会計を合わせて総額百八十六億四百九十九万円の予算がどう使われるかについて、みなさんのご理解をいただきたいと思ひます。

ことしの予算編成の 基本的な考え方

●市長の予算説明から

『総合整備計画』を基調に昭和四十六年度の前橋市各会計の当初予算編成の基本方針をお知らせし、この予算に対し市民のみなさんのご理解と、ご協力をいただきますと思ひます。

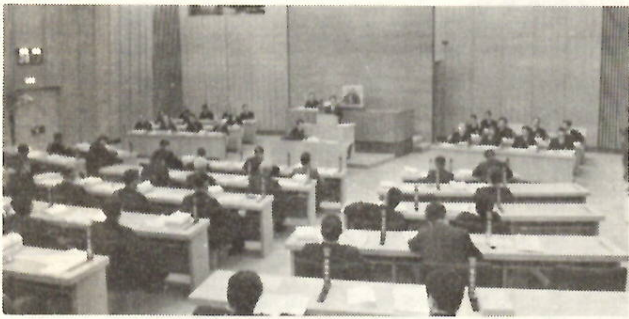
まず、この予算編成にあたっては、四十三年度を初年度として実行されている長期十年の『前橋総合整備計画』を基調としました。この『総合整備計画』については、昨年の十二月一日号・十五日号の広報紙に、『前橋市のビジョンと現況』として、実施三年間の中間報告をかねて、広く市民のみなさんにお知らせしたところであり、市民はどのよう感じ、どんな期待を持ち、要望を持っているか、その反響を知るため、市政モニターの人たちを中心に、アンケートをとりました。

住民福祉の向上を

さて、私が常日ごろ考えますところは、いつの時代でもそうであろうと思ひ、またそうでなければならぬと思ひますが、『誠実にその職責を果たす人びとの、集団の力によらなければ、社会は決して前進しない。このような人びとの集団育成のために、まず一歩一歩着実に、住民福祉の向上を進めなければならぬ』ということであつて、市民は、現在の社会を考へてみますと、『本来、人間福祉の向上を目的としたはずの経済成長が、かえってさまざまな産業公害、交通戦争、物価高をはじめ、人間の喪失、コミュニケーションの欠如といった、もろもろの弊害をもたらした、ゆゆしい諸問題をひき起している。こうした悪化の一途をたどる環境破壊の諸現象に果敢に挑戦し、人間性豊かな社会を建設すべきである』との思いを強くしています。

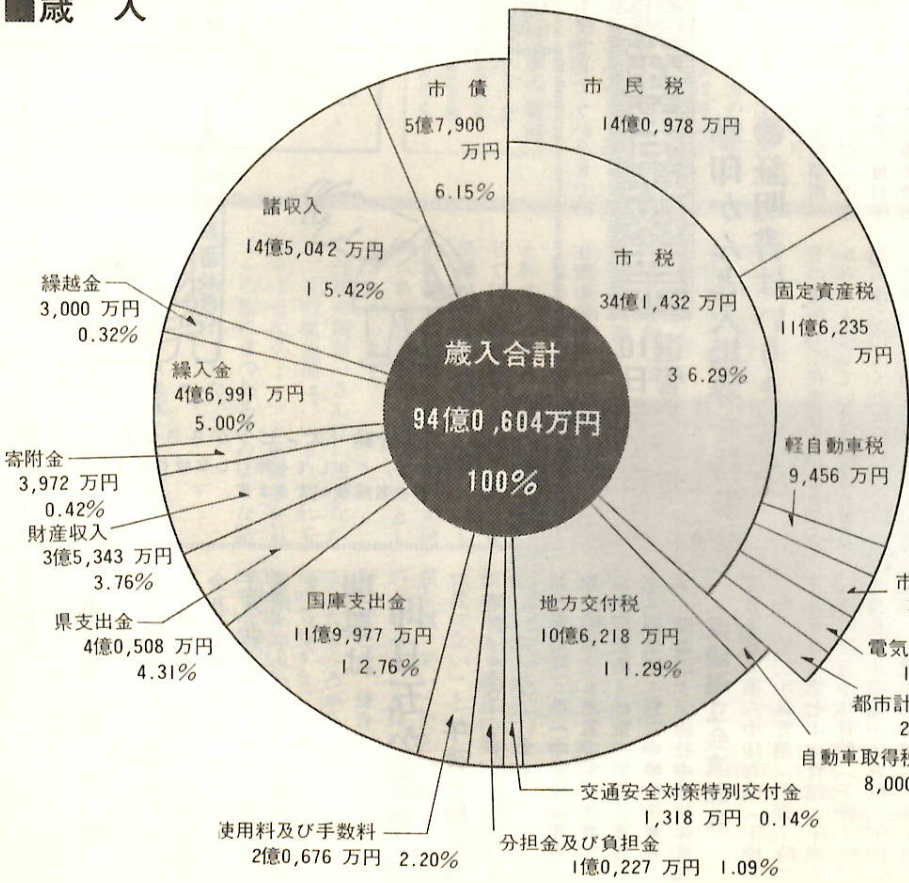
時の変化に 対処しながら

時たままた、昨年十二月十九日づけの新聞報道には、首都圏整備委員会が、首都圏の再開発計画を検討し、『北関東地域に百五十万人規模の大都市群』の建設をめざす都市改造案を了承した、との報道がありました。これにより、千億門を投資して、『水戸・日立

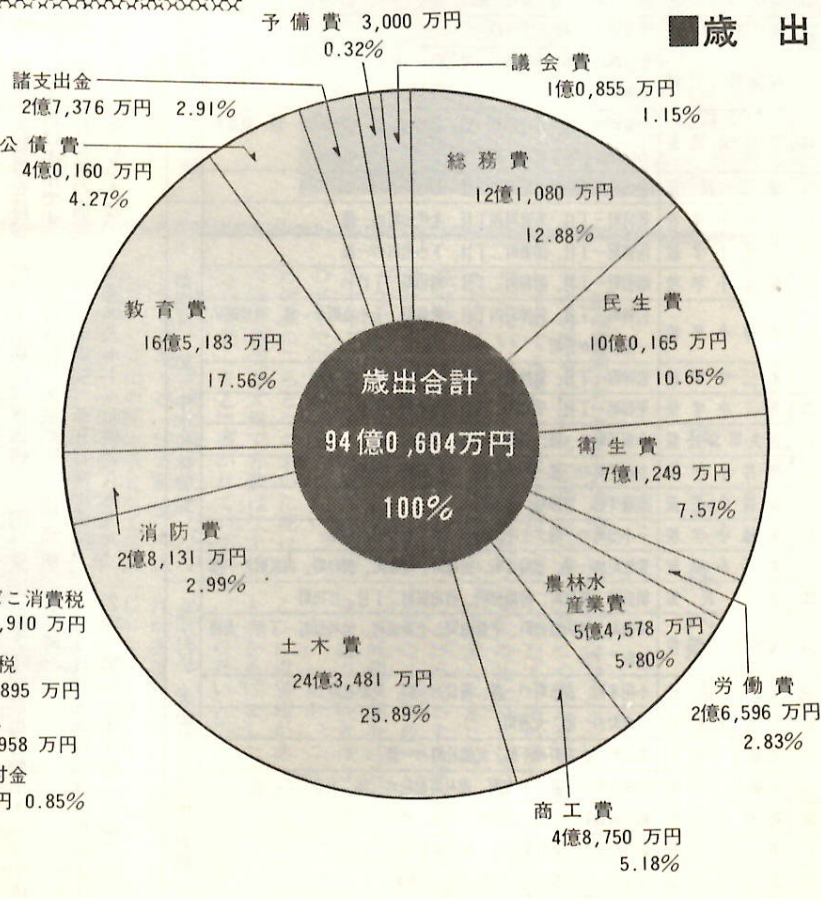


一般会計予算分類図

■歳入



■歳出



昭和46年度予算

186億円の『民生』にき



鈴木副議長 都木議長

議長都木、副議長鈴木氏

各常任委員も決まる

三月二十四日の市議会本会議で、正副議長選挙が行われ、投票の結果、議長に都木喜徳氏、副議長に鈴木長治氏が選任されました。

都木氏は市議一期、新清水幹事長、教育民生常任委員長を歴任。鈴木氏は、市議一期、新清水副幹事長、総務企画常任委員長を歴任しています。

なお、各常任委員会の所属委員

の改選も行われ、次のとおりになりました。(○印委員長、▽印副委員長)

□総務企画常任委員会 ○樋田道賢▽飯野茂平、亀井邦夫、木村勇、萩原義正、町田一三、奈良政雄、西ヶ久保淑郎、佐藤幸雄、長瀬知市郎。

□教育民生常任委員会 ○関口三代八▽尾高英雄、菅野義章、布施川忠之助、塚田文雄、宮下大八、岡田豊喜、鈴木あい、林三郎。

□経済常任委員会 ○富沢徳次郎▽小林三郎、山本要、岡本義雄、中沢良一、狩野富美男、川上正城、中沢実、伊藤広之、中島光一。

□建設水道常任委員会 ○宮川健夫▽萩原弥惣治、鈴木長治、内田

光雄、藤井清、鈴木康之、黒崎晃丸山貞吉、田村寛。

□工業団地造成組合議会議員 山本要、内田光雄、藤井清、田村寛、長瀬知市郎。□前橋市ほか四町村交通災害共済組合議会議員 鈴木康之、狩野富美男、中沢実、鈴木あい。□伊勢崎社会福祉施設市町村組合議会議員 中沢良一。

人権擁護委員に三氏

任期満了による人権擁護委員の後任として、城東町三丁目二十五番二の二藤巻登、文京町四丁目二十二番二宮川健夫、大手町二丁目九番十二鈴木あいの三氏を推せん議会の同意を得ました。

●186億円のあらまし	
■一般会計予算額	94億0,604万円
■特別会計予算額	69億3,257万円
国民健康保険	13億9,467万円
食肉処理場	1,862万円
中央児童遊園	2,475万円
競輪	50億2,523万円
中小企業合理化資金貸付	2,469万円
用品調達	4億4,460万円
■公営企業会計	22億6,629万円
水道事業	9億1,325万円
下水道事業	11億1,000万円
農業共済事業	2億3,704万円
総計	186億0,490万円

ゆる「時の流れ」の変化を多分に包含することになるであろう。従来、叫ばれてきた百万都市構想から、百五十万都市構想への計画の変化などから、現時点での本市の位置づけは、ひじょうにむずかしい、それだけに重要であります。将来へわたっての『本市のあり方』を、現実的に『今』責任を持たされていく私たちの責任も、きわめて重大なものがあります。

市民の協力のもとに

以上の考えのもとに、編成しました予算は、一般会計で九十四億六千四百三十三万円、前年度当初予算の七十七億一千四百四十九万円に比べ十六億九千九百八十四万二千九百九十九円増(二一・九パーセント増)となりました。

なお、特別会計と公営企業会計とを合わせると、総額百八十六億円となりますが、くわしい内容については『百八十六億円の使いみち』として、次のページ以下にお知らせしたところであります。

これらの予算の執行にあたっては、さらに一層の配慮を加え、財源の効率的な使用につとめ、いやくも浪費、冗費のそしりを受けることのないよう、じゅうぶんな配慮をしたいと思います。市民のみなさんの一層のご理解、ご協力をおねがいいたします。

大局を洞察して

私は、かつて昭和四十四年三月の定例市議会で、「いたすらに百万都市を叫ぶことなく、百万都市になっても市民生活が、近代的都市です。」

歳入のあらまし

市税収入は三十四億円

歳入全体の36・3パーセントに

まず、市税は計上額が三十四億一千四百三十二万円。これは、昭和四十五年度末の収入見込額を、一応計上しました。

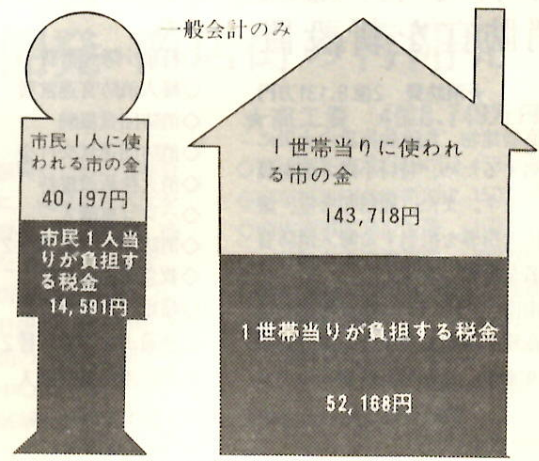
市税については、本年度も所得税の減税措置が行なわれる予定でありますが、所得の伸び、自然増固定資産税の伸びなどを考えます。

都市計画税では――

と、今後、五億ないし六億の追加が見込まれます。しかし、地方公営団体の予算としては、国の予算と異なり、年間において補正予算が必要となりますので、この伸び額は追加財源として留保することとしました。

地方交付税は十億六千万円。地方交付税は、昭和四十五年度の普通交付税の決定額十億六千二百八十八万円を計上しました。このほか、特別交付税分としては、約一億円が今後の追加財源として見込まれます。

また、競輪収入は、本年度九億円を見込んでいます。



市民の市税負担額と還元額

新都市計画法による都市計画税については、昭和四十七年度から原則として市街化区域に限定して課税することになる予定です。

また、市街化区域内の農地の課税については、現時点ではこれも昭和四十七年以降農地と近郊宅地との課税の均衡を考慮して、保有課税の適正化をはかることとします。その場合には、近郊宅地の価額から造成費を控除した額を基準として評価替えを行なうこととなります。もちろん、この場合には税負担の激変を緩和するため、これらの農地の、市街化の状況で負担調整措置が講ぜられる予定であります。

自動車重量税関係

本年の十二月から実施になる予定で、この重量税の配分については、収入額の四分の一相当額を市町村の道路目的財源として譲与されるものです。

その算定の細部については、予算編成時において不明はあてりました。したがって、これは後日補正予算のとき追加計上しますが、この額は、約一千六百万円ぐらいとなる予定です。

一般会計予算分類

●一般会計予算性質別分類

□人件費	21億0,823万円 (22.4%)
□物件費	7億1,287万円 (7.6%)
□維持補修費	6,413万円 (0.7%)
□扶助費	6億2,539万円 (6.6%)
□補助費等	11億6,295万円 (12.4%)
□普通建設事業	40億9,416万円 (43.5%)
□失業対策事業	1億4,691万円 (1.6%)
□公債費	4億0,152万円 (4.3%)
□繰出金	5,988万円 (0.6%)
□予備費	3,000万円 (0.3%)
□合計	94億0,604万円 (100%)

●一般会計予算財源状況

□一般財源	55億2,841万円 (58.78%)
(都市計画税を除いた市税・地方交付税・使用料及び手数料の一部・財産収入の一部・繰越金・諸収入の一部)	
□特定財源	38億7,762万円 (41.22%)
(都市計画税・自動車取得税交付金・分担金及び負担金・使用料及び手数料の一部・国庫支出金・県支出金・財産収入の一部・寄附金・繰入金・諸収入の一部・市債等)	
□合計	94億0,604万円 (100%)

公園8か所を新設

区画整理9地区実施

都市改造事業に3億7千万円

★土木費 24億3,481万円

土地区画整理事業、都市改造事業、街路事業に14億0,300万円を計上、現在までの事業を促進、整備します。国の関係、地元の意向により補正する予定です。

公園事業は、新前橋2号、元総社6号、天川大島1号・3号、大友2号、石倉2号、桜ガ丘、利根緑地の8か所を設置します。

道路舗装は45年度で旧市域の3.5メートル以上の道路は98パーセントの実施率となります。46年度は新市域の実施率48パーセントの促進にふりむけられます。

公営住宅は、広瀬団地に162戸、南橋団地に24戸、計186戸を建設予定です。

●道路橋りょう費 4億8,178万円
◇土木機械センター建設費 2,000万円

◇県営南部土地改良補助 504万円
◇中部土地改良補助金 543万円
◇富田土地改良補助金 159万円
◇増田土地改良補助金 184万円
◇道路新設改良費 2億0,590万円
◇道路改良・水路改良 9,070万円
◇橋りょう改良修繕費 800万円
◇橋りょう新営事業 7,987万円

●土地区画整理 6億8,300万円
◇東部地区 2億0,371万円
◇西部第1地区 4,000万円
◇西部第2地区 3,000万円
◇川原第2地区 5,783万円
◇広瀬地区 6,710万円
◇北部地区 1億1,100万円
◇大友地区 8,900万円

◇荒牧地区 3,383万円
◇上石倉地区 3,692万円
●都市改造事業 3億7,000万円
◇新前橋駅前地区 1億7,060万円
◇下石倉地区 3,070万円
◇前橋駅南口地区 1億2,670万円
◇日吉町地区 3,000万円
◇二中地区 1,200万円

●街路事業 3億5,000万円
◇東部環状線改良他1億0,620万円
◇東部環状線立体交差 4,500万円
◇大友西通り線改良他 6,780万円
◇南部大橋線改良 1,200万円
◇公園遊歩道線 2,445万円
◇中央大橋線 9,333万円

●公園管理事業 2,593万円
◇樹木植栽用原材料代 150万円
◇プラスチック製ポート 56万円
◇前橋公園維持修繕改造 250万円
◇敷島公園維持修繕改造 200万円
◇こども公園維持改良 150万円

●公園整備事業 7,700万円
◇敷島公園 2,760万円
◇新前橋2号公園 360万円
◇元総社町6号公園 450万円
◇天川大島町3号公園 450万円
◇天川大島1号公園 360万円
◇大友町2号公園 360万円
◇石倉町2号公園 360万円
◇桜ガ丘町公園 600万円
◇利根川緑地 2,000万円

●住宅費 3億9,787万円
◇既設団地住宅補修費 1,400万円
◇中高層住宅頭金貸付 102万円
◇公営住宅建設費 3億3,762万円
◇建築基準法施行業務 1,457万円

32メートル級ハシゴ車を購入して

特科小隊、婦人消防官を新設置

★消防費 2億8,131万円

高層建物、危険物施設の火災に対処するため、特科小隊8名を設置します。また、通信司令室、家庭防火指導を担当する婦人消防官8名を新設置します。

市内の4階以上の高層建築物は現在建築中のものを含めて159棟あります。これら高層建物の火災

の消火、人命救助に対処するため32メートル級のハシゴ車を購入します。

◇特科小隊運営費 671万円
◇婦人消防官運営費 618万円
◇消防団員報酬 752万円
◇消防団運営交付金 280万円
◇消火栓新設維持 642万円
◇ハシゴ車購入 2,600万円
◇消防ポンプ車買替2台 820万円
◇救急自動車買替 270万円
◇超短波無線機買替 168万円
◇普通ポンプ車買替2台 400万円
◇消防用器具類購入 550万円

PTA負担の軽減に2千9百万円を

学校増改築は6校で

城南小移転に1億円

★教育費 16億5,182万円

教育施設の充実、つねに予算編成上から重点事業として考慮されていますが、学校建築では中央小、敷島小、城南小、大利根小、

広瀬小等の増改築を実施します。小学校体育館は3校、小学校プールは広瀬小に、地区公民館は元総社を改築します。さらに校具・

教具の充実をはかっていきます。

主な計上額は次のとおりです。

◇私立幼稚園建設補助金 300万円
◇私立幼稚園運営費補助 250万円
◇教育職員研修費補助 222万円
◇奨学資金貸付金 360万円
◇教職員研修事業 128万円
◇新入学児記念品 190万円
◇教育研究所費 133万円
◇温水プール兼トレーニングセンター建設費 699万円

◇南橋、桂萱、城南共同調理場運営費 483万円
◇西部共同調理場運営費 100万円
◇南部共同調理場建設 3,500万円

●小学校費 7億0,373万円
◇大利根小開設事業 208万円
◇教科書改定教師図書費 423万円
◇小学校プール給水本管布設(嶺・荒子小学校) 400万円
◇小学校施設補修工事 3,207万円

◇小学校防火、防盜警報機設置事業 130万円
◇言語指導・難聴弱視教室運営費 137万円
◇校具、教具施設充実 2,642万円

◇大利根小新築12教室 7,369万円
◇敷島小改築8教室 6,065万円

◇城南小移転新築 1億0,000万円
◇広瀬小増築6教室 2,604万円
◇中央小改築9教室 3,565万円
◇小学校体育館3校 7,476万円
◇小学校プール新築 920万円

◇PTA負担軽減のための施設整備の需用費備品等 2,327万円
●中学校費 2億1,489万円
◇中学校施設設備補修 2,296万円
◇中学校防火、防盜警報機設置事業 87万円

◇教育機器購入(英語) 200万円
◇校具教具設備充実 1,735万円
◇第2中改築12教室 7,690万円
◇PTA負担軽減のための施設整

備需用費備品等 551万円

●養護学校費 828万円

●女子高等学校費 1億1,819万円

◇運動場整備工事 350万円

◇学校運営費 814万円

●幼稚園費 4,902万円

●社会教育費 1億9,443万円

◇成人祝記念品代 107万円

◇文化財保護、普及事業 517万円

◇中央公民館改修 700万円

◇成人学校・市民講座・市民展等の事業 141万円

◇図書館図書購入費 619万円

◇図書館新館建設設計 300万円

◇児童文化センター運営 398万円

◇同、スクールバス購入 270万円

◇こども公園運営業務 563万円



市立赤城林間学校でカッター練習のよい子たち。林間学校は涼しい夏の赤城で、学習しながらからだをきたえる市の施設です。

◇元総社公民館新築 1,659万円

●体育費 2,849万円

◇体育協会運営費補助 200万円

◇各種スポーツ振興奨励 249万円

◇林間学校管理運営 186万円

◇同、校舎前道路舗装 240万円

◇カッター購入費 132万円

●青少年対策費 1,578万円

◇地域活動振興費 185万円

◇カギッ子対策等 43万円

◇補導活動費 140万円

◇青少年相談費 30万円

●工業短期大学費 1億3,886万円

◇新校庭造成工事 500万円

◇図書、座標測定器購入 635万円

◇校舎建設事業 6,000万円

特別会計予算

保険給付費は12億9千万円

★国民健康保険 13億9,467万円

本年度の年間平均被保険者世帯数は26,000、被保険者数は86,000人と推定されます。

国保事業は、医療費にスライドして保険税を徴収しなければなりません。療養給付や助産費、葬祭費を含めた保険給付費は12億9,815万円です。昨年より7,956万円の増です。

ロボタコを設置

★中央児童遊園 2,475万円

子どもたちの健全な遊び場として、維持管理をしていきます。

とくに本年度は、現在の遊具オクトパスに替えて、新しいロボタコを900万円で購入、魅力ある遊園にする計画です。

7万5千頭を処理

★食肉処理場 1,862万円

最近の畜産振興に伴ない、ここ1〜2年来の漸減状態から、利用度も上向きの傾向にあります。昨年より8,000頭多い約75,000頭の処理が見込まれます。処理手数料は1,524万円、冷蔵庫使用料304万円が収入として見込まれます。

競輪収益は9億円

★競輪会計 50億2,523万円

本年度の競輪収益金は9億円が見込まれます。このうち1億円は福祉施設基金として積み立て、残り8億円は、清掃工場建設財源、市民畜場、県民会館建設負担金、小中学校の改築、道路舗装等の直接市民と関係する事業の財源として効率的な運用をはかります。

貸付額を引上げ

★中小企業合理化資金貸付

2,469万円

前年までの貸付金は、設備額の2分の1でしたが、本年度から4分の3に引き上げます。このため前年より500万円増の1,500万円を計上し、中小企業の設備改善のために活用されます。

経費を節減

★用品調達会計 4億4,460万円

市役所内の物品の購入、払出し支払手続きの一本化により、事務の簡素化をはかる趣旨のもので、特別会計として計上、一括購入等により経費の節減をはかります。

2億9千万円で

水源確保、配水管の拡張整備を

★水道事業 9億1,325万円

水道事業は39年度から46年度まで8年間をもって第3次拡張事業を実施中です。しかしながら経済の発展と、これに伴う市民生活の向上による水の需要は、当初計画をはるかに上回る実績を示しています。先の12月議会で第3次拡張計画の変更が承認されましたが、本年度は2億9,000万円です。水源確保、配水管の拡張整備をしています。

経営面では、料金コストが年々上昇していますが、事務の合理化等を推進、現行使用料体系を維持していくこととしています。

なお、第4次拡張計画は、目下策定中です。

前年の3億円増

7億9千万円を投入

★下水道事業 11億1,600万円

近ごろ、河川等の公共水域の水質汚濁は、重大な社会問題とされています。公共下水道整備は、これを防ぐ意味からも緊急で、市もこの事業を最重点のひとつとしています。45年度末には計画面積の53パーセントに達する見込みですが、本年度は、さらに前年の3億円増の7億9,000万円を投入して強ちに事業をすすめます。

さらに六供町の下水処理場の改良に3億4000万円を見込んでいます。

総共済金額18億円

★農業共済事業 2億3,704万円

補償の充実と損害防止事業の強化を重点に、蚕繭共済の単位当たりの共済金額と家畜共済の割合の引き上げをはかります。総共済金額は18億3,400万円、事業費は2億3,704万円です。

●45年度補正予算

□一般会計 8,135万円を追加、94億1,964万円となりました。

□国民健康保険 3,853万円を減額、12億7,155万円となりました

□食肉処理場 335万円を追加、2,216万円となりました。

□中央児童遊園 3万円追加、1,529万円となりました。

□競輪会計 4,166万円を追加、52億9,875万円となりました。

□中小企業合理化資金貸付 337万円を追加、3,364万円となりました。

□用品調達 460万円を追加、3億8,120万円となりました。

昭和46年度予算

186億円の使いみち

●かいせつ●

ことしの、市の台所「186億円の使いみち」をお知らせします。みなさんの税金、国県からの支出金、使用料や手数料、財産収入、諸収入などで得た財源を、みなさんのためになるしごとに有効に使うため、いろいろと考えながら配分して、この予算は組まれています。おうちのみなさんでよくお読みください。

一般会計予算

歩道橋は2か所新設

交通、公害対策積極的に

★総務費 12億1,080万円

激増する交通事故対策、公害対策を重点として施策を講じます。

まず、交通安全対策としては、1,200万円で交通信号機、200万円道路標識、530万円カーブミラー、ガードレール、フラッシュアイ（道路中心点標識灯）などを設置します。横断歩道橋は1,501万円です。2か所をつくり、交通指導員は60人、交通災害共済にも298万円を負担します。

防犯のための街路灯は、昨年補正予算で200灯を新設しましたが本年も250灯をつくり、自治会の電灯維持費の助成は30パーセントとします。

公害対策は前年に続き、力をそそぐこととし、市民の安全と快適な生活を保つため、前年の約倍の4,764万円を計上しました。大気汚染、騒音、振動測定の計器類の購入に158万円、市内中小企業者の公害防止施設整備の資金借り入れの利子一部助成157万円、へい獣処理施設整備利子補給182万円

が組み込まれています。

このほか、公共施設整備のための先行投資をはかる土地開発基金は、用地取得がますます困難になる関係から、1億5,000万円を計上し土地価格の値上り等による公共事業の推進が阻害されることに対処します。主なものは次の通り。

◇土地開発基金積立1億5,000万円
◇福祉施設基金積立1億0,000万円
◇県民会館正面道路拡張整備事業費と建設負担金 1億6,493万円
◇市史編さん事業 1,664万円
◇行政連絡事務委託料 1,803万円
◇公害対策事業 590万円
◇交通安全保持事業 2,435万円
◇徴税費（納税組合補助金・計算センター委託料）1億6,946万円
◇選挙費（県議選・参議院選）2,895万円

◇統計調査費 1,345万円
★議会費 1億0,855万円

議員報酬39人分と職員人件費を合わせて9,622万円、議会運営のための費用等が1,233万円です。

「きめこまかい民生施策」配慮

子ども、としよりの福祉面を重点

★民生費 10億0,165万円

「きめこまかい民生予算」という考えのもとに、現在実施中の敬老年金、交通事故被害者救済資金、児童手当、ねたきり老人見舞金、時間外保育補助金等の制度に加えて、あたらしい災害遺児手当、在宅重度障害児手当制度、老人性白内障手術費支給制度を設けました。

災害遺児手当は、交通事故や労災事故などによって父母を失った遺児（義務教育終了以前の子どもで、約150人と推定される）に、月1,000円の手当を支給するものです。また、在宅重度障害児手当は、施設に収容されないでいる重度障害児（20歳以下で、1～3級の身体障害者で約150人と推定される）に、月1,000円の手当を支給するものです。老人性白内障手術費支給制度は、65歳以上のソコ

ヒの手術費を支給するものです。このほか、敬老年金贈与、精神薄弱者の援護、保育児童・母子委託事業、生活保護事業など各種施策が講じられていますが、主な予算額は次のとおりです。

◇老人センター委託料 323万円
◇老人クラブ育成補助金 417万円
◇福祉協議会補助金 823万円
◇敬老年金贈与 837万円
◇ねたきり老人見舞金 145万円
◇老人健康診査事業 571万円
◇老人保護措置委託費 5,146万円
◇身体障害者援護委託 955万円
◇精神薄弱者援護委託 2,166万円
◇国保特別会計繰出金 4,500万円
◇保育所建設補助等 1,141万円
◇児童手当支給金 266万円
◇災害遺児手当支給事業 180万円
◇重度障害児手当支給 186万円
◇保育所児童および助産施設、母子寮母子委託費 1億1,170万円
◇保育所各所補修工事 330万円
◇児童遊園整備 162万円
◇生活保護費 4億3,530万円

キケン物収集週1回に増やす

斎場建設に1億5千万円

法定伝染病予防接種すべて無料

★衛生費 7億1,249万円

法定伝染病の予防接種料個人負担は、すべて無料とし、2,230万円を計上、このほか結核予防事業に1,308万円、各種検診等の保健

事業に310万円が使われます。2年計画でつくられる市民畜場には1億5,406万円、霊園管理事業に217万円、ねずみ駆除対策に

560万円、墓碑付墓地建設に800万円を組んでいます。

危険物収集の民間委託は、現行は2回収集ですが、ごみに混入されるプラスチック、ビニール、スチロールが炬の腐蝕のもととなることを防ぐことを兼ね、週1回に増やし、現在の委託台数3台を5台にします。

また、公衆便所の水洗化は、年次計画で事業を進めてきましたが水洗可能区域で未実施は8か所となりましたので、これを一挙に水洗化するための予算措置を講じました。主な予算額は次の通り。

◇母性保護普及事業 160万円
◇各種検診等保健事業 310万円
◇結核予防事業 1,308万円
◇予防接種事業 2,230万円
◇霊園管理事業 217万円
◇伝染病予防事業 307万円
◇ねずみ・昆虫駆除事業 560万円
◇墓碑付墓地建設費 800万円
◇霊柩自動車1台買替 180万円
◇霊園休憩所建設費 50万円
◇新斎場建設費 1億5,406万円
◇保健衛生推進協議会連合会への補助金 380万円
◇ごみ収集民間委託料 943万円
◇キケン物収集委託料 1,572万円
◇ごみ収集車買替2台分 315万円
◇ごみ焼却費亀泉工場 1,492万円
◇ごみ焼却費六供工場 3,734万円
◇清掃工場新設 1億1,922万円
◇公衆便所水洗改良8 300万円
◇バキューム車買替1台 130万円
◇し尿収集業者助成 1,174万円
◇下水処理場使用料補助 530万円
◇し尿処理施設改良費 4,495万円

勤労青少年ホームつくる

失業対策費に

1億4千万円

★労働費 2億6,595万円

失業対策、労政事業を中心に施策をたてました。

まず、失業対策費は、失対賃金・工事用原材料、工事用機械器具購入等を含めて1億4,691万円を計上しました。

労政対策事業は230万円、新規事業として鉄筋3階建ての勤労青少年ホームを7,717万円建設します。主な計上額は次のとおりです。

◇失業対策関係賃金 4,296万円
◇失対工事用原材料 4,500万円
◇失対工事用機械等購入 558万円
◇雇用対策事業 54万円
◇労政対策事業 230万円
◇中小企業労働福祉施設資金のための預託金 2,525万円
◇勤労者生活融資資金預託金（労働金庫） 700万円
◇産業人スポーツセンター整備事業費 647万円
◇勤労青少年ホーム建設事業費 7,717万円

農業構造改善事業を中心に

『新しい農業』をすすめる

★農林水産業費 5億4,577万円

は、本年度から新しく亀泉、富田東の2事業を実施、このほか小笠原、筑井地区が団体営で実施したい意向でありますので、調査費を計上しました。主な計上額は次のとおりです。

◇農業委員会運営費 799万円
◇農業近代化資金利子補給 3,205万円
◇米生産調整対策費 146万円
◇農業構造改善対策費 7,703万円
◇有線放送合併補助 1,250万円
◇営農融資預託事業費 1,800万円
◇農業近代化推進事業 822万円
◇植物病虫害防除事業 774万円
◇花き園芸振興対策事業 301万円
◇野菜園芸振興対策費 1,109万円
◇農業機械化センター運営事業 1,064万円
◇蚕桑技術指導事業 801万円
◇アメヒト防除対策費 295万円
◇飼料自給対策 722万円
◇家畜・種畜貸付 2,741万円
◇家畜衛生、検査 411万円
◇畜産施設及び技術指導 425万円
◇畜産団地造成事業 6,000万円
◇ほ場整備事業 6,201万円
◇群馬用水土地改良事業 834万円
◇農道舗装事業 2,174万円
◇農業用水路危険防止費 483万円
◇市単農業土木事業費 1,556万円
◇小規模土地改良事業 775万円
◇地籍調査事業 706万円



転換期に直面している農政の諸問題に、いかに対処していくか、弾力性をもつとともに、緻密（ちみつ）な読みも必要で、これらの状況判断を基本に予算を編成しました。

まず、有線放送農協の合併は、総事業費4億8,000万円の20パーセントを向う5か年にわたって補助することとし、46年度1,250万円を計上しました。

営農融資預託金は、市街化区域を有する6農協に「農住開発資金預託金」として600万円、全農協に「農地流動化資金」として1,200万円を預託します。

アメリカンコヒトリ防除対策は市有施設は担当課で、各自治会には操作のかんたんな器具を貸し出すため25台を購入、薬品購入補助金も計上しています。

牧野開発、畜産団地造成も前年に引き続き実施します。

農業構造改善対策事業費は7,703万円を計上しました。ほ場整備

中小企業に各種資金を融資

工業開発・商店街の再開発

★商工費 4億8,749万円

中小企業の振興のための各種資金融資を中心に、商業の近代化をはかる資金融資や工業の開発、商店街の再開発などをすすめます。

とくに、商店街の再開発については、現在の日銀あと地を中心とする中央商店街の再開発を研究中です。さらに中心部のみでなく、区画整理事業区域を含めて実現可能な線で検討していきます。

中小企業金融対策には、経済の動向から前年度に比べ2,500万円の増、1億5,000万円を計上しました。中小企業産業別集団化促進事業は、1企業500万円以内の借入金に対し、3パーセントの利子補給をすることとしています。

児童遊園には、現在のオクトパスにかえて、新しくロボタコを購入費として一般会計から900万円を繰り出します。

主な計上額は次のとおり。
◇小売商・卸売商・製造業等の振興事業費 154万円

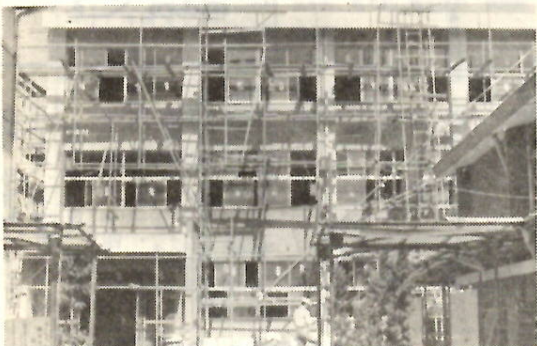
◇販路開拓事業（見本市）158万円
◇商業振興団体事業助成 150万円
◇商店街再開発の促進 100万円
◇立体駐車場建設補助 268万円
◇生鮮食料品卸売市場事業促進補助（利子補給） 1,641万円
◇商業設備近代化資金融資 1億2,669万円

◇中小企業融資資金預託 1,000万円
◇中小企業季節金融1億5,000万円
◇中小企業機械貸付 4,000万円
◇中小企業緊急融資資金 800万円
◇商工中金預託 600万円
◇工業開発に対する助成 500万円
◇産業道路整備事業 2,600万円
◇中小企業産業別集団化促進事業（利子補給） 200万円
◇観光、物産、宣伝事業 240万円
◇各種まつり行事 265万円
◇バス交通対策 計量行政、工業経営合理化等 123万円
◇市民プール管理運営 2,012万円
◇中央児童遊園繰出金 1,487万円

写真ニュース



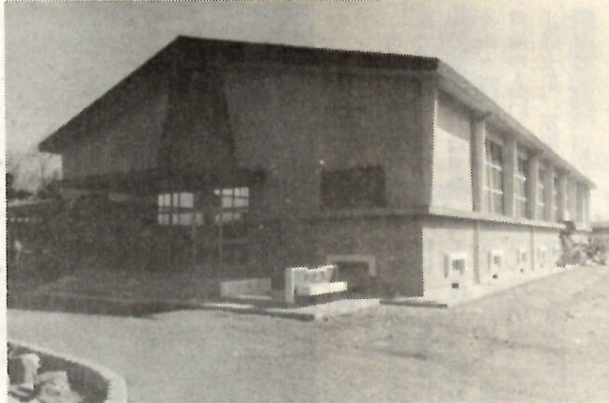
完成した元総社小学校改築校舎



中央小学校改築校舎



二之宮小学校体育館



天川小学校体育館

できたぞ！ボウラの学校

○「ワフ、ボウラの学校ができたぞ！」昨年四月開校の広瀬小について二番目の団地小学校として『大利根小』が、四月八日から開校されます。鉄筋コンクリート三階建て、普通教室が六つ、特別教室が三つ、そのほか管理室をそなえたスマートなもの。昨年十一月着工、総工費は四千三百三十万円。六百七十人のよい子たちの元気な声が、明るい教室にこだまするのも、もう間近かです。

元総社・中央小も改築

○普通教室八つ、普通教室三つ、鉄筋三階建ての元総社小学校の新校舎が完成、千二百六十人の子どもたちの笑顔のなかで、三月に着工しています。

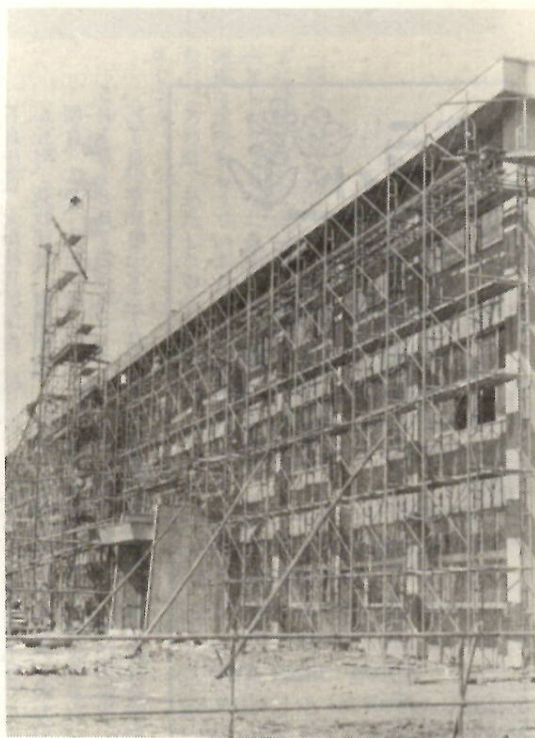
体育館二校にできる

○体育館は、天川小と二之宮小に完成、四月の新学期から子どもたちに利用されます。ともに鉄骨平屋建てで、天川小が延べ六七三平方メートル二千五百万円、二之宮小が五九四平方メートル千九百三十万円の総工費です。

大利根小が誕生！

十三日落成式が行なわれました。昨年八月着工、総工費は五千五百万円。

○三月末完成の中央小の改築校舎は、昨年十一月着工、鉄筋三階建て、普通教室三、特別教室二で総工費は四千三百五十万円。



4月8日開校の大利根小学校、昨4年月開校の広瀬小学校について、団地小学校として二番目

残念な——新記録！

昨年の死傷者一万六千人

●県内の交通事故

交通事故は、あい変らずの多発ぶり、わたしたちの生活に大きな脅威を与えています。県警でまとめた昨年中の県内交通事故は、発生件数、死傷者とも、今までの最高という残念な記録となっています。

一日平均死傷46人

人身事故の発生は一万二千五百一件で、昨年より二・七パーセント増です。このうち三百三十四人が死亡、一万六千四百二十一人がケガをしています。死傷者をあわせると、たとえば邑部郡板倉町の人口を上回る数字となり、一つの町全員が死傷してしまったことになります。

非常に多い

わき見・ぼんやり運転車の側での事故原因では、わきみ、ぼんやりなどの安全運転義務違反が全体の四一パーセント以上を占め、圧倒的に多く、これについて徐行違反、追い越し方法違反、酒酔い運転、車の間隔を正しくとらない運転などがめだっています。

非常に多い

一方、歩行者側では「とびだし」や「車の直前直後の横断」などがめだっており、歩行者の注意をうながしています。

老人の死亡事故も多い

死亡者三百三十四人のうち、六十歳以上の老人が九十一人もあり、全体の二七・二パーセントを占めて最も高い率を示しました。

被害者の状態では、歩行中の九十八人が最高ですが、とくに自転車にまたがった五十三人（五一パーセント増）がめだっています。

おたがいに気を付けたいものです

（県警本部）

違反建築に

パトロール

「通報にも協力」

ことし一月一日から、改正建築基準法が施行されました。この改正では、建築物に関するいろいろな基準を、社会の現況に即応したものに変更、守られやすい法律とした一方、違反建築に対しては厳正な態度でのぞみ、違反は正の措置

あなたかいこころ

パトロール

「通報にも協力」

違反建築に

パトロール

「通報にも協力」

違反建築に

パトロール

「通報にも協力」

違反建築に

パトロール

「通報にも協力」

違反建築に

パトロール

「通報にも協力」

違反建築に

パトロール

「通報にも協力」

違反建築に

学校リレー訪問

数島小学校

⑩

数島小学校メモ

□所在地 昭和町一丁目22-8 □開校 明治6年3月 □校地面積 17,487平方メートル □校舎面積 3,962平方メートル □児童数 1,062人



市のほぼ中心、家々に囲まれた住宅街に、わたしたちの数島小はあります。北に群大医学部、明和短大があり、広い校舎に立つと、家並のはるかに赤城山をおおぐことができます。開校は明治六年の三月です。九十八年の歴史をもち、群馬県では四番目の古さといわれます。校庭の北側に大小二面のプールがあり、その東に体育館があります。校庭の南側には、砂、スプリング・クレーンがあり、わたしたちを、砂ぼこりから守ってくれます。

校舎は、ことしから改築される予定ですが、旧校舎は北・中・南の三つに分かれていて、木造二階建てです。その中には低学年用と高学年用の図書室、音楽室、家庭科・理科などの特別教室があります。また、最近アナライザーという機械を使って勉強する教育機器室ができました。これはわたしたちの机のななめ上に、六つの押しボタンがついていて、このボタンを押すと、先生の机の上の機械に、誰がどんな解答をしているかがわかるようになっていきます。

わたしたちの勉強にとっても便利で役立つ機械です。児童会の活動はとも活発で、図書、学校園、放送、掲示、清掃をはじめ、十二部にわかれています。それぞれの部が、責任をもって、いっしょにけんめいしことをすすめています。そのため、わたしたちの学校は、庭には花が咲き、教室には楽しい放送がながれ、壁には報告やニュースが報道されています。

クラブは十六あって、これはおもに個人の趣味をのびすことが目標とされています。運動クラブは共同精神を養うことに役立てられ、昨年の秋には市内小学校陸上記録会で、三種目一位をとり、実績をあげています。

旧市街地の中にあつて、比較的落ち着いた環境にめぐまれたわたしたちの学校数島小。一、新校舎完成の期待のなかで、わたしたちは勉強に運動に、なおいっそうはげんでいきたいと思っています。

（数島小児童会）

歌会始めのお題は『山』

山
住所
氏名
職業
生年月日

四十七年歌会始めのお題は『山』と決まりました。お題の『山』については、歌の中に『山』の文字がなくても、たとえば富士、アールプス、ヒマラヤ等山の名があればよく、また山の情景がよみ込まれていれば『山』の字がなくてもよいとされています。一人一首、未発表の歌で、用紙は半紙、毛筆で自書(病氣、身障者は代筆も可)とし、書式は別図のとおり。詠進期間は九月一日から十月十日までであって先は東京都千代田区一番一宮内庁「詠進歌係」へ。

『婦人消防官』募集

申し込み 4月15日まで

市消防本部では、消防の通信業務や火災予防指導などを担当する『婦人消防職員』を募集します。採用人員は八人、応募資格は満二十五歳未満、高卒程度の学力があり、身長百五十五センチ、体重四十五キロ以上の人で通勤可能の人です。給与は高卒で本俸三万二千四百円以上、ほかに手当支給。スマートな制服が貸与されます。

申し込みは四月十五日までに、市消防本部へ。用紙は消防本部にあります。試験日は第一次試験が四月十六日、第二次試験が四月二十三日に、消防本部講堂で行なわれます。

男子消防職員も募集



市民の生命や財産を守るため消防の第一線で活躍する『男子消防職員』八人を募集します。満二十八歳未満、高卒程度の学力のある身長百六十センチ、体重五十五キロ以上、通勤可能の人。本俸三万二千四百円以上、ほかに手当支給。制服を貸与します。申し込み、試験日は『婦人消防職員』と同じ。

* おしらせ *

春の大掃除

指定日までにすませましょう

ことしも、春の大掃除の季節がきました。ふだん、そうじの行きとどかない場所をきれいにし、健康で、明るい生活をするために一戸残らず指定日までにすませましょう。



ことし80歳になる人は
敬老年金の手続きを
市では八十歳以上のおとしよりに『敬老年金』をお贈りしていただきますが、ことし中にあらたに八十歳になる人(明治二十四年生まれ)は、ことしからこの年金を受けることができます。該当者は資格届を四月三十日までに市役所三階厚生課へ提出ください。届出用紙は自治委員さんか厚生課に用意してあります。くわしいことは同課庶務係(電話24局一〇一・一内線352)へお問い合わせを。

新しい制度発足に
● 該当者は受給手続きを

交通事故の
災害遺児手当

月千円づつ

交通事故や労働災害事故で、生計の中心であった父・母を失った子ども(義務教育終了前)の子ども、月千円の『災害遺児手当』を支給する制度が、ことしから新しく発足しました。手当を受けられるのは、市に居住し、現に災害遺児を扶養している同一世帯の保護者です。手当は毎年九月、三月の二回、その月までの分が支給されます。

在宅
障害児手当

月千円を支給

二十歳未満の在宅重度障害児に月千円の手当を支給する制度が、ことしから発足しました。手当を受けられるのは市の居住者で①父母または父母にかわって障害児を扶養し、障害児と同じ世帯にいる保護者②知能指数が35以下と判定され③身体障害者の一級と二級に該当④そのほか市長が同程度と認めるもの、となっています。手当は、九月、三月の二回、その月までの分を支給。該当者は①世帯全員の住民票の写し②障害の程度がわかる判定書、身障者は身障手帳を添えて、お早めに市役所三階厚生課へ申請書(用紙は厚生課にあります)を提出ください。くわしいお問い合わせも同課へ。

市役所千代田町分室の電話

福祉事務所	32局2912
社会教育課	32局6538
体育課	32局6539
青少年室	32局2895

春の全国
交通安全運動

4月5日～10日前期
4月26日～1日後期



4月5日は各家庭の交通安全家族会議日です。家族のみなさんと交通安全について話し合ひましょう。

伝説とその付近

塩釜桜(端気町)

桜の季節となりましたので、端々たたきました。時の住職寛山和尚の善勝寺に伝わる『塩釜桜』は、この僧が北条時頼とは知るよすがでみえた。塩釜桜は、古くは、旅の僧としてのあたり来、たいへん美しい花といわれ、ちなみに広辞苑をみると『八重の花弁で、葉ま(返)で美しい』との意とあり、総合種苗ガイド②という本には『宮城県塩釜神社に大正十年ごろであった天然記念物の老木で現在は枯死してない。その健在のころとておいた花は白っぽく優美な大輪で弁数は二十枚以上の美しさ』と書かれています。さて、この塩釜桜があったといわれる善勝寺は『住古勝道上人(日光二荒山の開山者として名高い)の草創といわれる。大治四年(一一二九)聖慶法師という僧が薬師如来の尊像を安置した寺』と由緒があり、塩釜桜については『正嘉二年(一一五八)天台の僧寛山住持たりし時、北条時頼より宿の高僧を説き及田一師を寄進す。当時庭前に巨桜二株あり塩釜桜と称す。時頼詠じて曰く海毛那久磯濃毛遠幾古及里雨何礼及阿満賀植之塩釜(海毛なく磯も遠きこの里に何れの阿満(あま)が植えし塩釜)』と記されています。



住職の園意一さんは『残念ながら、その塩釜桜は、いまは枯れてありませんが……』と前置きをしてこの桜にまつわる次のような話をしてくれました。

鎌倉幕府の執権北条時頼は、諸国を巡り歩いていましたが、あるとき、身を黒染めの法衣にかくし、無名の僧侶の姿となって、赤城山麓の、この善勝寺の山門を

いま、この芳賀地区には、工業団地と住宅団地が計画され、新しいツチ音が、新しい時代の響きを力強く伝えていきます。(写真は塩釜桜の伝説と旧国宝を蔵する端気善勝寺)